

TSK 「社会福祉法人つどいの家」

後援会だより ~第99号~



オシャレ
の合間に
後援会活動
(グループホーム)

募金箱設置協力 HANAI hair design



連載

きいて きいて

～ 社会とのかかわりの中で ～



医療的ケアって知っていますか？

医療的ケアとは、日常生活を送る上で必要な吸引や経管栄養などの医療的な行為のことで、生きる為に必要なケアです。病院を退院し、家庭で生活していく為に医療的ケアを家族が行います。

学校や通所施設等では看護師がケアを行うことで通学通所ができます。10数年前は、医療的ケアが必要という理由で福祉サービスが受けられない、通学が出来ない等の制限が多くありました。近年は利用できる福祉サービスも増えてきましたが、それでもまだ医療的ケア児者は利用できないという制限があります。

家庭で医療的ケアを家族が行うということは、昼夜問わずケアが必要であったり、体調管理の大変さと不安を抱えたりしながらの生活です。そんな生活の日々でも社会の中で多くの経験や楽しい生活を過ごして欲しいと思う親の思いは同じです。特別なケアや配慮は必要でも、必要なケアを受けられる環境であれば、社会生活に参加することができます。ありのままを理解し本人のペースを大事に支えてくれる方々に会い、受け入れてくれる場所があることで本人だけでなく家族の社会生活も成り立つようになりました。

医療が発展し助かる命が増えたことで医療的ケア児が急速に増え、また成人を迎えられるようになりました。我が子が成人を迎えてくれた喜びとその先にあった大きな問題。身体の変化、移行期医療、生活介護施設の不足。可能な限り家庭環境に近い生活の場を望みますが、全国的にも医療的ケアに対応しているグループホームはとても少ない現状です。救われた命、大人になれた命がその先も安心して楽しい生活が送れるように、将来の生活の場やサービスを選べる選択の自由が叶う社会であって欲しいと願います。

(つどいの家・コペル:家族・佐藤理恵)

新連載「きいて きいて ～社会とのかかわりの中で～」について

後援会の広報誌「後援会だより」も次号で100号を迎えます。また、来年度から後援会のホームページが開設され、その中に「後援会だより」を掲載して広く一般の方々にも読んでいただけるようになります。そこで、広報誌の新たな連載として「きいて、きいて」を掲載することになりました。

利用者やご家族をはじめとした本会会員が、「よき理解者との出会い」や「理解を得られたことで救われたと感じた出来事」など、(地域)社会とのかかわりの中で直接経験した中で考えさせられたことや伝えたいことをご紹介いただくことで、この広報誌が本会会員と社会との橋渡しの役を担い理解の広がりにつながると考えております。

『なりきりコンテスト』 写真展を開催しました！

2月18日から22日まで、仙台フォーラスで「なりきりコンテスト」写真展を開催しました。150名を超える多くの皆様にご来場いただき、無事終了することができました。ご来場いただいた皆様、会場の準備や運営にご協力くださった実行委員会の皆様、運営委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

利用者の皆さんが、ステキなドレスに身を包み、ランウェイを歩く姿を想像しながら、「なりきりコンテスト」を企画しました。昨年秋には、太陽生命厚生財団から助成金を受けることも決定し、さあこれからという時期に、コロナの感染者が次々と出てくる状況で、当初予定していたコンテストは、開催日も開催場所も決めることができず、どうなることかと心配しました。しかしなんとかして実現したいという思いで、開催は規模を縮小して事業所ごとに写真撮影をして、フォトブックにして記録を残すということに計画を変更しました。

まずそれぞれの事業所でプレイベントとしてちょっとだけドレスを着て、「変身」の醍醐味を味わってもらった後、本番は1月24日コペル、1月20日若林福祉センター、2月7日八木山つどいの家、9日仙台つどいの家、13日アプリという日程で行いました。本番ではそれぞれの事業所で小物を準備したり、特別な場所を設定していただいたりして、「なりきり」になれるように盛り上げていただきました。

写真撮影が進み、写真を並べてみると、ふだん見られないような利用者さんのステキな表情に見ている方も自然と笑顔になります。これを独占するのはもったいない、ぜひ皆さんに見てもらいたいという思いから、展示会を開催しようということになりました。そこからは怒涛のような毎日になりましたが、無事開催することができました。

これらの写真は、プレイベントの写真もいっしょにしてフォトブックを作成し、記録に残します。

昨年のヘアコンテストに続くイベントでしたが、次はどのようなイベントがいいのかなと考えています。「こんなことやったらいいのでは」というご提案をいただければ、後援会として取り組んでいきたいと思えます。



(なりきりコンテスト実行委員会委員長：高橋 和)

令和5年度社会福祉法人つどいの家

後援会総会開催のお知らせ

今年度も後援会の活動にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。
下記の日程で令和5年度後援会総会を開催いたします。

日時： 令和5年4月26日(水) 10:30-12:00

場所： 宮城野区中央市民センター第3会議室(仙台市宮城野区五輪2丁目12番70号)

議題： 令和4年度事業報告、決算報告、監査報告
令和5年度事業計画・予算(案)・役員(案) 等

つどいの家後援会会員募集

～ 後援会の目的 ～

社会福祉法人つどいの家の

基本理念に対する社会の関心や理解を広げ、

法人の運営する事業所及び事業を支援すること

コロナ禍の中、つどいの家では施設整備をはじめとするサービスの充実を図るため一層の資金を必要としています。つどいの家を支える後援会の活動にご賛同ご協力をお願いいたします。

■入会の申込

つどいの家・コペルまでお電話でお申し込みください ☎ 022-781-1571

■年会費

- ・運営会員 3,000円 *議決権あり
- ・賛助会員 (個人) 3,000円以上 *議決権なし
- ・賛助会員 (団体) 10,000円以上 *議決権なし
- ・協力会員 (募金箱設置やポスティング等の協力)

発行責任者：「社会福祉法人つどいの家」後援会 会長 針持 哲郎
〒984-0838 仙台市若林区上飯田 1-17-58 (つどいの家・コペル)

TEL：022-781-1571 FAX：022-781-1573

発行所：東北障害者団体定期刊行物協会

〒981-0907 仙台市青葉区高松 1-4-10 頒価/100円(後援会の会費を充てています)